

2012年10月25日

報道関係者各位
プレスリリース〔資料配布〕

=====
**明治国際医療大学とポルトガルのスポルト・リスボア・イ・
ベンフィカ (SPORT LISBOA e BENFICA) が連携協定を締結**
=====

2012年10月19日、ポルトガル・リスボンのベンフィカスタジアムにおいて、明治国際医療大学は、ポルトガル共和国のスポーツクラブであるスポルト・イ・ベンフィカ(以下、ベンフィカと略す)との包括協定書の調印式を行った。ベンフィカ関係者と本学関係者の立会いの下、中川雅夫学長と Luis Fillipe Vieira ベンフィカ会長が協定書にサインし、スポーツにかかわる予防・治療の技術と知識の相互交流を通して、スポーツ医学の発展に協力し寄与することを確認した。



Luis Fillipe Vieira ベンフィカ会長(左)と握手を交わす中川雅夫学長

〔今後の展望〕

スポーツ人口の増加に伴い、スポーツ傷害に悩まされることが日常的なものになりつつあり、スポーツ障害の予防、治療、コンディショニングに効果がある「鍼灸」や、外傷に対する応急手当を行う「柔道整復」の技術がスポーツ界で注目され、医療現場のみならず、スポーツ現場においても鍼灸師、柔道整復師の活躍の場は広がっている。

明治国際医療大学では、鍼灸学部鍼灸学科、保健医療学部柔道整復学科において、これらの医療職を養成するとともに、運動指導の知識・技術をあわせて教授するなど、教育・研究の両面において、スポーツ選手のケアと治療に取り組んできている。

今後、ベンフィカとの相互交流を通じて、本学がスポーツのパフォーマンス向上やスポーツ障害の予防とケア、プロスポーツ選手のサポート等に一層活躍できる体制を作り上げていきたい。

明治国際医療大学

明治国際医療大学(めいじこくさいりょうだいがく、英称:Meiji University of Integrative Medicine)は、京都府南丹市に所在し、母体は学校法人明治東洋医学院。姉妹校として明治東洋医学院専門学校(大阪府吹田市)がある。

昭和 53 年に本邦初の鍼灸高等教育機関として開学した「明治鍼灸短期大学」を前身とし、昭和 58 年に「明治鍼灸大学」へと昇格。平成 6 年には、日本唯一の大学院鍼灸学研究科(博士後期課程)を設置するなど、我が国における鍼灸医学の教育・研究を牽引する他、附属病院、附属鍼灸センターなど 7 施設が併設され、統合医療の発展を目的とした臨床研究や基礎研究が行われている。

また、平成 16 年 4 月に保健医療学部柔道整復学科、平成 18 年 4 月に看護学部看護学科を開設し、東洋医学の特色を活かした総合医療大学をめざし、平成 20 年 4 月、現校名に改称した。平成 23 年 4 月には世界初となる鍼灸研究のための大学院通信教育課程を開設した。

- (1)法人設立 :1966 年(昭和 41 年)10 月
- (2)大学開学 :1983 年(昭和 58 年)4 月
- (3)理事長・学長 : 中川雅夫

スポーツ・リスボア・イ・ベンフィカ(Sport Lisboa e Benfica)

ポルトガル・リスボンに本拠地を置き、その名は特にサッカーによって知られているが、17種の競技関わるプロスポーツ選手養成を中軸とした総合スポーツクラブである。1904年創立のスポーツ・リスボアと1906年創立のスポーツ・クルーベ・ベンフィカが1908年に合併して現在に至っている。

プロ・サッカー選手の養成施設であるベンフィカ・アカデミーでは、12-17歳の養成選手56名と18歳以上のプロ選手66名が、150名のスタッフの支援を受けてトレーニングを受けている。スタッフには、20名近い医療系スタッフが、常に一人ひとりのコンディションの目を配るだけでなく、体のケア、運動生理学的分析、練習や試合のパフォーマンスの運動力学的解析、栄養指導と生活指導、学習援助からレクリエーションまで幅広く総合的なサポート体制が作られている。ベンフィカ・ルス・スタジアムにもプロ選手およびアマチュア選手に対するスポーツケアのシステムが構築されており、5000人以上の選手に100人近い医療スタッフがケアにかかわっている。

=====

【本提携・取材等に関するお問い合わせ先】

〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田 TEL:0771-72-1231 FAX:0771-72-1040
学校法人明治東洋医学院 法人本部事務局 総合情報基盤推進室

=====

※本広報資料は、ご自由にご転送・ご引用ください。

〈プレスリリース配信元: 明治国際医療大学 <http://www.meiji-u.ac.jp/>>

